

令和4年度 森林環境譲与税に関する決算状況

| No. | 事業区分 | 事業名 | 事業総額（千円） | | | 事業内容 | 実績 |
|-----|---------------|------------------------|----------|------------------|---------------|--|---|
| | | | (A)+(B) | (A)うち森林環境譲与税（千円） | (B)うち他の財源（千円） | | |
| 1 | 意向調査、集積計画等作成 | 森林所有者意向等調査事業 | 2,282 | 2,282 | 0 | 令和元年度から令和3年度までに意向調査を実施し回答があった森林所有者に対してフォローアップのための通知等を送付。 | フォローアップ文書送付数：1400件 令和元年度回答者 767人 令和2年度回答者 686人 令和3年度回答者 198人 |
| 2 | 意向調査、集積計画等作成 | 森林経営管理事業推進費 | 2,178 | 2,178 | 0 | 経営管理事業を行うための団地形成が図面上で見込める地区をモデル地区として現地踏査。調査は林小班ごとに林況調査と標準地調査(0.04ha)を実施し、標準地調査は林小班内の代表的な林について各1箇所調査。 | 調査対象森林 面積 30.02 ha 筆数 25 筆 林小班数 63 所有者数 14 人 |
| 3 | 私有林整備 | 造林事業促進補助金 | 10,240 | 3,002 | 7,238 | 公共等に採択された下刈・間伐等について上乗せ補助を実施。 | 保育間伐：20.16ha 間伐(搬出)：37.80ha 下刈：78.32ha 野そ駆除：46.74ha |
| 4 | 森林・林業・木材普及活動等 | 地域材利用促進事業 | 1,268 | 1,268 | 0 | 地域材を利用した木製工作キットを使用し、市内の地域ごとに木工教室を開催。 | 小学生の夏休みおよび冬休み期間にあわせて「親子で作る木工工作教室」を市内の公共施設など6会場で計13回開催し、199名のご家族が来場した。 |
| 5 | 森林・林業・木材普及活動等 | 出生祝記念品事業 | 8,861 | 8,861 | 0 | 赤ちゃんの誕生を祝い、道南スギを活用した記念品を贈呈。 | 記念品 1,100個を購入 |
| 6 | その他（人材育成等） | 自伐型林業普及推進事業 | 2,628 | 2,628 | 0 | 自伐型林業の普及促進のためのフィールドワーク研修。 | 研修参加者：14人 |
| 7 | その他（人材育成等） | 北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金 | 10 | 10 | 0 | 「北海道立北の森づくり専門学院」の創設を契機として設立された北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への負担金。 | |
| 8 | 木造公共建築物の整備等 | 函館駅前イルミネーション関係経費 | 31,420 | 2,951 | 28,469 | 函館駅前のイルミネーションの一部にLEDで装飾した道南スギを使用。 | 木材使用量：9.00㎡ |
| 9 | 木造公共建築物の整備等 | 本通小学校屋内運動場床改修事業 | 55,194 | 14,810 | 40,384 | 屋内運動場の床材に道南スギを利用し改修。 | 木材使用量：21.79㎡ |
| 10 | 木造公共建築物の整備等 | 函館公園木橋手摺改築事業（公園等整備） | 9,690 | 9,690 | 0 | 老朽化した木橋手摺を道産材で改築。 | 木材使用量：5.30㎡ |
| 11 | 木造公共建築物の整備等 | 見晴公園木柵更新事業（公園等整備） | 9,648 | 9,648 | 0 | 老朽化した木柵を道産材で更新。 | 木材使用量：4.80㎡ |
| 12 | 木造公共建築物の整備等 | 銭亀第2号児童公園藤棚修繕事業（公園等整備） | 907 | 907 | 0 | 老朽化した藤棚を更新。 | 木材使用量：1.77㎡ |
| | | 計 | 134,326 | 58,235 | 76,091 | | |

【事業等の説明】

- 適切な森林の管理のため、令和元年度から令和3年度までに意向調査を実施し、回答があった森林所有者1400人に対して、事業の進捗状況等を記載したフォローアップのための文書等を送付し、施業の見直しや今後の流れについて説明。
- 森林経営管理事業を推進するため、経営管理事業を行うための団地形成が図面上で見込める白石地区、小安地区をモデル地区として、現地を踏査し森林状況(30.02ha)を調査。調査は林小班ごとに林況調査および標準地調査(0.04ha)を実施し、標準地調査については林小班内の代表的な林について各1箇所調査。
- 私有林整備の推進のため、公共に採択された下刈78.32ha・間伐37.80ha・保育間伐20.16ha・野そ駆除46.74haに対し上乗せ補助を実施。
- 「地域材の普及啓発」と「木育」の観点から、小学生の夏休みおよび冬休み期間にあわせて「親子で作る木工工作教室」を市内の公共施設など6会場で計13回開催。木工マイスターの資格取得者が講師となり、地域材である道南スギを使用した子ども椅子を製作するイベントには199名のご家族が来場された。また、赤ちゃんの誕生を祝い、道南スギで製作した積み木を出生祝記念品として贈呈する事業を実施。
- 人材育成の観点から、昨年度の講演会に引き続き、自伐型林業に関する現場研修会をのべ10日間にわたり実施し、14人の参加があった。
- 木材利用の観点から、市内の小中学校の屋内運動場の床を道産材を用いて改修。また、劣化の激しい函館公園の木橋手摺、見晴公園の木柵、児童公園の藤棚を道産材を使用し再整備。そのほか、駅前イルミネーションの装飾の一部に道南スギを使用。